

## 特別会計

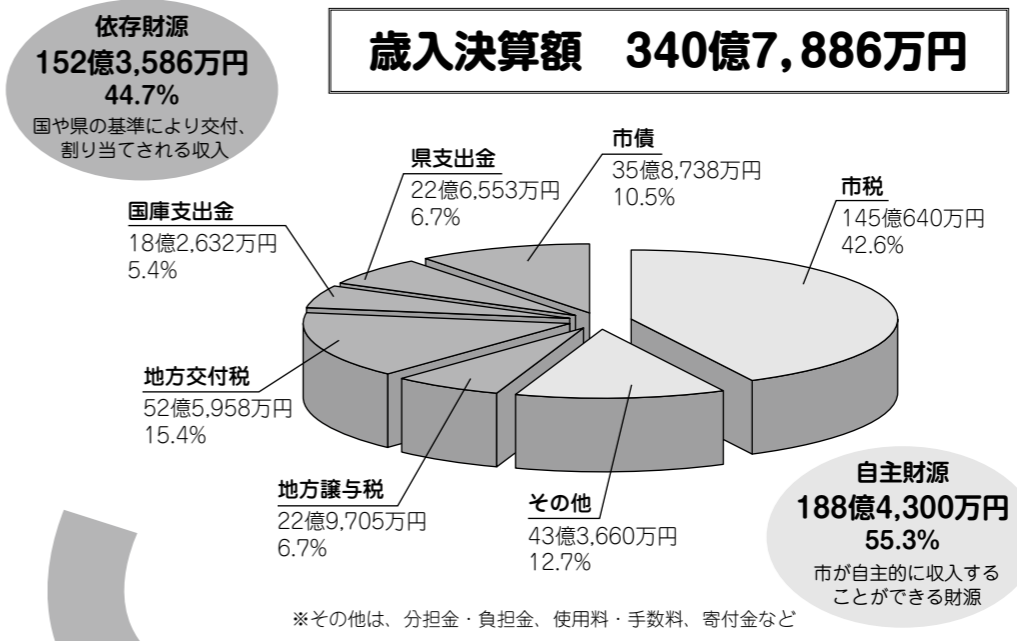
## 市が特定の事業を行うための会計

	歳入決算額		歳出決算額	
	19年度	18年度	19年度	18年度
国民健康保険	80億5,783万円	74億2,933万円	79億2,690万円	73億6,696万円
老人保健医療	76億2,131万円	77億8,483万円	76億2,131万円	77億8,483万円
介護保険	41億1,398万円	39億2,719万円	40億7,440万円	38億8,155万円
公共下水道事業	64億2,026万円	67億9,868万円	62億4,484万円	66億2,155万円
農業集落排水事業	9億7,660万円	8億2,874万円	9億6,307万円	8億1,424万円
土地取得事業	1,720万円	5,553万円	1,618万円	5,494万円
野洲川基幹水利施設管理事業	1,620万円	1,914万円	1,617万円	1,912万円
鉄道経営安定対策基金	733万円	1,091万円	733万円	1,091万円
鉄道施設整備基金	4,133万円	8,819万円	4,133万円	8,819万円
国民健康保険診療所	2,287万円	2,849万円	2,282万円	2,491万円
小計	272億9,491万円	269億7,103万円	269億3,435万円	266億6,720万円
病院事業	19億9,922万円	17億4,542万円	18億1,367万円	18億2,125万円
水道事業	39億4,382万円	40億0,854万円	46億2,259万円	45億7,337万円
小計	59億4,304万円	57億5,396万円	64億3,626万円	63億9,462万円
合計	332億3,795万円	327億2,499万円	333億7,061万円	330億6,182万円

※企業会計の決算額は、「収益的収入・支出」と「資本的収入・支出」の合算

## 一般会計

## 市の基本となる会計

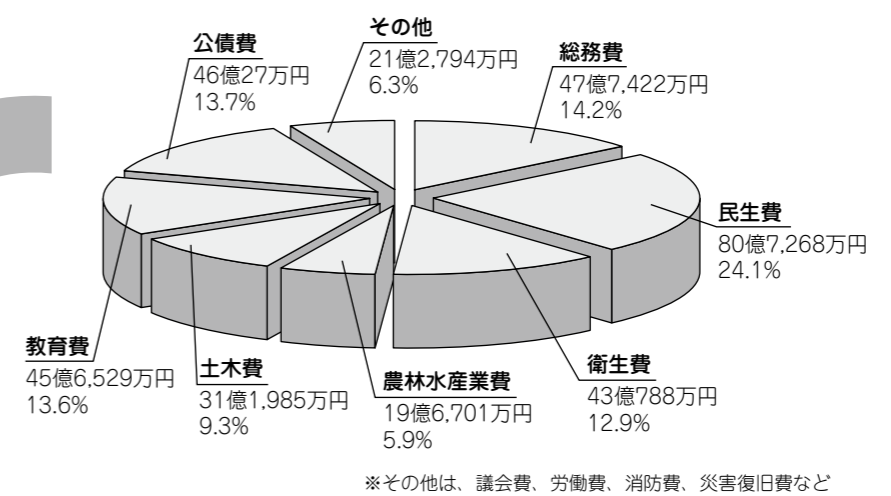


**市民1人あたりの市税の負担額**

1人あたり 12万9,004円  
(1世帯あたり 38万7,051円)

※市税(法人市民税などを除く)の収入を3月31日現在の人口と世帯数で計算

## 歳出決算額 335億3,514万円



**市民1人あたりに支出したお金** (35万481円)

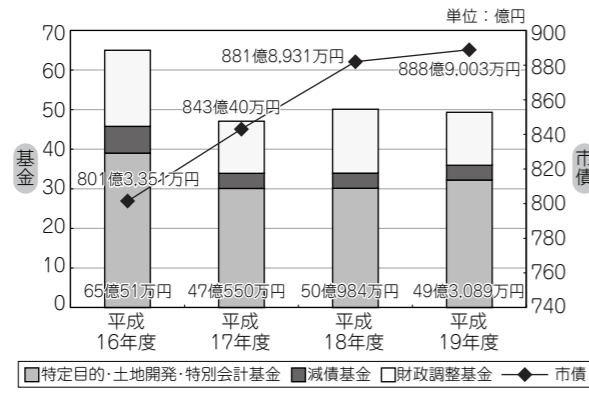
※各費目の支出額を、3月31日現在の人口で計算

費目	金額
総務費	49,896円
民生費	84,369円
衛生費	45,022円
農林水産業費	20,558円
土木費	32,606円
教育費	47,713円
公債費	48,078円
その他	22,239円

## 市債と基金

市債は市の借金です。道路や学校、下水道などの施設をつくるに、財源の一部として使われます。

基金は市の貯金です。各年度の財源を調整するための「財政調整基金」や、将来の支出のために、目的別に積み立てる「特定目的基金」などがあります。



※市債残高は、特別会計・企業会計を含む全会計の合算です。

※基金残高は、全会計の合算から、「住みよき生活あかされるまちづくり基金」(30億8,000万円)を除いています。この基金は、合併した後のまちづくりを進めるため合併特別債という特別な借金をして積立をしております。

## 市の財政状況を家計に置き換えてみると

市の財政状況を、分かりやすくするために、500万円の家計に置き換えてみましょう。

